

「(仮称)恵庭市通年型屋外スポーツ施設整備事業」に関する サウンディング型市場調査の結果公表

恵庭市では、平成31年4月1日から令和元年7月2日にかけて、民間事業者様と対話形式で、(仮称)恵庭市通年型屋外スポーツ施設整備事業に関するサウンディング調査を実施させていただきました。

今回の対話を参考に、当該事業の今後について検討を進める予定です。

《1》 実施時期

サウンディング型実施要領の公表	平成31年2月15日
現地見学会受付期間	平成31年2月15日～平成31年2月28日
参加受付期間	平成31年3月18日～平成31年3月27日
対話によるサウンディング実施期間	平成31年4月 1日～令和 元年7月 2日

《2》 参加事業者数

現地見学会参加事業者数	0事業者
サウンディング参加事業者数	1事業者

《3》 対話によるサウンディング調査の結果(意見概要)

<調査結果概要>

①民設民営の可能性について

- ・民間による建設と施設所有の可能性はあるが、他施設の利用料や稼働を考慮すると利用料のみでの運営は難しく、賃料収入を得る仕組み等の検討が必要。

②施設の利用方法、集客や稼働率の向上について

- ・他の施設と競合しないような施設が良い。
- ・現在の既存体育施設の改善要望などを補完できる施設としてはどうか。
- ・近隣の教育施設との連携により集客増や稼働率の向上が図れないか。
- ・子どもが基礎体力向上できるような施設の利用について、近隣市の類似施設も参考に検討してはどうか。
- ・屋外スポーツに拘らず日中の利用を促すため、ストライダーやマーチングバンド等の利用ができるようにしてはどうか。
(※ストライダー＝ペダルなしの2輪車)

③その他意見

- ・敷地内の既存施設と別棟にすると、人員等の管理経費が余計にかかるので既存施設につなげた方が良い。
- ・敷地内に他の民間施設(店舗など)を誘致できれば相乗効果が図れるのではないかと。但し、立地上視認性が課題であり、施設のコンセプトや利用イメージを具体化させ、民間テナント誘致を図るべきではないか。

《4》 今後の対応

今回の調査結果を参考に、当該事業の今後について検討を進めてまいります。